

平成28年2月4日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ブ ラ ス  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 河 合 達 明  
(コード番号：2424 東証マザーズ・名証セントレックス)  
問 合 せ 先 取 締 役 河 合 智 行  
管 理 本 部 長  
(TEL 052-571-3322)

## 募集株式発行及び株式売出しに関する取締役会決議のお知らせ

平成28年2月4日開催の当社取締役会において、当社普通株式の東京証券取引所マザーズ及び名古屋証券取引所セントレックスへの上場に伴う募集株式発行及び株式売出しに関し、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせ申し上げます。

### 記

#### 1. 公募による募集株式発行の件

- |   |  |
|---|--|
| (1) 募集株式の種類及び数  | 当社普通株式 200,000株  |
| (2) 募集株式の払込金額   | 未定（平成28年2月18日の取締役会で決定する。）  |
| (3) 払 込 期 日   | 平成28年3月8日（火曜日）   |
| (4) 増加する資本金及び資本準備金に関する事項                                  | 増加する資本金の額は、平成28年2月29日に決定される予定の引受価額を基礎として、会社計算規則第14条第1項に基づき算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。 |
| (5) 募 集 方 法   | 発行価格での一般募集とし、東海東京証券株式会社、株式会社SBI証券、安藤証券株式会社、岡三証券株式会社、東洋証券株式会社、マネックス証券株式会社及び丸三証券株式会社を引受人として、全株式を引受価額で買取引受させる。引受価額は発行価格と同時に決定するものとし、引受価額が払込金額を下回る場合は、この募集株式発行を中止する。     |
| (6) 発 行 価 格   | 未定（募集株式の払込金額決定後、募集株式の払込金額以上の価格で仮条件を提示し、当該仮条件における需要状況等を勘案した上で、平成28年2月29日に決定する。）   |
| (7) 申 込 期 間   | 平成28年3月1日（火曜日）から<br>平成28年3月4日（金曜日）まで   |
| (8) 申 込 株 数 単 位   | 100株   |
| (9) 株 式 受 渡 期 日   | 平成28年3月9日（水曜日）   |
| (10) 前記各項を除くほか、この募集株式発行に関し取締役会の決定を要する事項は、今後の取締役会において決定する。 |  |
| (11) 前記各項については、金融商品取引法による届出の効力発生が条件となる。                   |  |

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

2. オーバーアロットメントによる株式売出しの件

- (1) 売出株式の種類及び数 当社普通株式 30,000株 (上限)
- (2) 売出人及び売出株式数 愛知県名古屋市中村区名駅四丁目7番1号  
東海東京証券株式会社 30,000株 (上限)
- (3) 売 出 方 法 売出価格での一般向け売出しである。
- (4) 売 出 価 格 未定 (上記1. における発行価格と同一となる。)
- (5) 申 込 期 間 上記1. における申込期間と同一である。
- (6) 申 込 株 数 単 位 上記1. における申込株数単位と同一である。
- (7) 株 式 受 渡 期 日 上記1. における株式受渡期日と同一である。
- (8) 前記各項については、金融商品取引法による届出の効力発生が条件となる。また、上記1. の募集株式発行が中止となる場合、本株式売出しも中止される。

3. 第三者割当増資による募集株式発行の件

- (1) 募集株式の種類及び数 当社普通株式 30,000株
- (2) 募集株式の払込金額 未定 (上記1. における払込金額と同一とする。)
- (3) 申 込 期 日 平成28年3月30日 (水曜日)
- (4) 払 込 期 日 平成28年3月31日 (木曜日)
- (5) 増加する資本金及び資本準備金に関する事項 増加する資本金の額は、平成28年2月29日に決定される予定の割当価格を基礎として、会社計算規則第14条第1項に基づき算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。
- (6) 割 当 方 法 割当価格で東海東京証券株式会社に割当てる。なお、割当価格が募集株式の払込金額を下回る場合は、この募集株式発行を中止する。
- (7) 割 当 価 格 未定 (上記1. における引受価額と同一とする。)
- (8) 申 込 株 数 単 位 100株
- (9) 前記申込期日までに申込みのない株式については、発行を打ち切るものとする。
- (10) 前記各項を除くほか、この募集株式発行に関し取締役会の決定を要する事項は、今後の取締役会において決定する。
- (11) 上記2. に記載のオーバーアロットメントによる売出しが中止となる場合、本第三者割当増資も中止する。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

## 【ご参考】

### 1. 公募による募集株式発行及び株式売出しの概要

#### (1) 募集株式の数及び売出株式数

- |          |      |                               |
|----------|------|-------------------------------|
| ① 募集株式の数 | 普通株式 | 200,000株                      |
| ② 売出株式数  | 普通株式 | オーバーアロットメントによる売出し 30,000株 (※) |

- (2) 需要の申告期間 平成28年2月22日（月曜日）から  
平成28年2月26日（金曜日）まで

- (3) 価格決定日 平成28年2月29日（月曜日）  
（発行価格及び売出価格は、募集株式の払込金額以上の価格で、仮条件における需要状況等を勘案した上で決定する。）

- (4) 募集・売出期間 平成28年3月1日（火曜日）から  
平成28年3月4日（金曜日）まで

- (5) 払込期日 平成28年3月8日（火曜日）

- (6) 株式受渡期日 平成28年3月9日（水曜日）

- (※) 上記のオーバーアロットメントによる売出しは、公募による募集株式発行に伴い、その需要状況を勘案し、東海東京証券株式会社が行う売出しであります。したがって上記のオーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数は上限株式数を示したものであり、需要状況により減少若しくは中止される場合があります。

オーバーアロットメントによる売出しの対象となる当社普通株式は、オーバーアロットメントによる売出しのために、東海東京証券株式会社が当社株主である河合達明（以下、「貸株人」という。）より借入れる株式であります。これに関連して、当社は、平成28年2月4日開催の取締役会において、東海東京証券株式会社を割当先とする当社普通株式30,000株の第三者割当増資（以下、「本件第三者割当増資」という。）を行うことを決議しております。

また、東海東京証券株式会社は、平成28年3月9日から平成28年3月28日までの間、貸株人から借入れる株式の返却を目的として、東京証券取引所または名古屋証券取引所においてオーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数を上限（以下、「上限株式数」という。）とする当社普通株式の買付け（以下、「シンジケートカバー取引」という。）を行う場合があります。

東海東京証券株式会社は、上記シンジケートカバー取引により取得した株式について、当該株式数については、割当てに応じない予定でありますので、その場合には本件第三者割当増資における発行数の全部または一部につき申込みが行われず、その結果、失権により本件第三者割当増資における最終的な発行数が減少する、または発行そのものが全く行われない場合があります。また、シンジケートカバー取引期間内においても、東海東京証券株式会社の判断でシンジケートカバー取引を全く行わないか若しくは上限株式数に至らない株式数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。

### 2. 今回の募集株式発行による発行済株式総数の推移

現在の発行済株式総数	1,197,600株
公募による増加株式数	200,000株
第三者割当増資による増加株式数	30,000株 (最大)
増加後の発行済株式総数	1,427,600株 (最大)

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

### 3. 増資資金の使途

今回の公募による募集株式発行における手取概算額794,080千円（\*）については、第三者割当増資の手取概算額上限120,612千円（\*）と合わせて、全額を新規出店のための設備投資資金に充当する予定であります。

内訳は、平成28年7月期出店予定のミエルシトロン（三重県四日市市）及びミエルココン（三重県津市）の店舗設備に485,087千円を、残額を平成29年7月期出店予定の梅田新店（仮称）及び清水新店（仮称）の店舗設備に充当する予定であります。

なお、具体的な充当時期までは、安全性の高い金融商品等で運用していく方針であります。

\*有価証券届出書提出時における想定発行価格4,370円を基礎として算出した見込額であります。

### 4. 株主への利益配分

#### (1) 利益配分の基本方針

当社は、財務体質の強化及び積極的な事業展開を行っていくことが重要であると考えており、内部留保の充実のために、これまで当期純利益を計上した期においても配当を実施しておりません。

しかし、株主への利益還元につきましては、重要な経営目標の一つとして認識しており、将来的には、財務状態・業績・事業計画等を勘案し、株主への利益還元を実施していく予定ではございますが、現時点においては配当の実施及びその時期については未定であります。

#### (2) 内部留保資金の使途

内部留保資金につきましては、事業展開のため設備投資資金として有効に投資してまいりたいと考えております。

#### (3) 今後の株主に対する利益配分の具体的増加策

今後も当面は、事業の展開及び経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保するため、配当を行わない方針であります。株主への利益還元を重要な経営課題と認識しており、財政状態及び経営成績を勘案し、配当の実施について検討する予定であります。

#### (4) 過去の3決算期間の配当状況

	平成25年7月期	平成26年7月期	平成27年7月期
1株当たり当期純利益	22,813.89円	303.44円	259.41円
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額)	— ( — )	— ( — )	— ( — )
実績配当性向	—	—	—
自己資本当期純利益率	16.3%	33.4%	21.3%
純資産配当率	—	—	—

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数に基づき算出しております。
2. 1株当たり配当額(1株当たり中間配当額)、実績配当性向及び純資産配当率については、配当を実施していませんので、記載しておりません。
3. 自己資本当期純利益率は、当期純利益を自己資本(期首・期末の平均)で除した数値であり、純資産配当率は配当総額を純資産(期首・期末の平均)で除した数値であります。
4. 当社は、平成28年1月5日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っておりますが、平成26年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。
5. 上記の株式分割に関連して、東京証券取引所自主規制法人(現 日本取引所自主規制法人)の引受担当者宛通知「『新規上場申請のための有価証券報告書(Iの部)』の作成上の留意点について」(平成24年8月21日付東証上審第133号)に基づき、平成25年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した場合の1株当たり指標の推移を参考までに掲げると、以下のとおりとなります。なお、平成25年7月期の数値(1株当たり配当額についてはすべての数値)については有限責任あずさ監査法人の監査を受けておりません。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

	平成25年7月期	平成26年7月期	平成27年7月期
1株当たり当期純利益	114.06円	303.44円	259.41円
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額)	— ( — )	— ( — )	— ( — )

## 5. ロックアップについて

上記1. の公募による募集株式発行に関連して、貸株人である河合達明及び当社株主である河合智行、大脇久嗣、河合二美、有限会社ウエディングマルシェ、能野基道、岩村豊正並びに鷺野真は、東海東京証券株式会社に対し、元引受契約締結日から上場(売買開始)日(当日を含む)後180日目の平成28年9月4日までの期間(以下、「ロックアップ期間」という。)中、東海東京証券株式会社の事前の書面による同意なしには、当社株式の売却(ただし、オーバーアロットメントによる売出しのために当社普通株式を貸し渡すこと等は除く。)等を行わない旨合意しております。

また、当社は東海東京証券株式会社に対し、ロックアップ期間中は東海東京証券株式会社の事前の書面による同意なしには、当社株式の発行、当社株式に転換若しくは交換される有価証券の発行または当社株式を取得若しくは受領する権利を付与された有価証券の発行(ただし、本募集、株式分割、ストック・オプションとしての新株予約権の発行及びオーバーアロットメントによる売出しに関連し、平成28年2月4日開催の当社取締役会において決議された東海東京証券株式会社を割当先とする第三者割当増資等を除く。)等を行わない旨合意しております。

なお、上記のいずれの場合においても、東海東京証券株式会社はその裁量で当該合意の内容を一部若しくは全部につき解除できる権限を有しております。

上記のほか、当社は、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程施行規則及び株式会社名古屋証券取引所の定める公募又は売出し等に関する規則の規定に基づき、上場前の第三者割当等による募集株式等の割当等に関し、割当を受けた者との間に継続所有等の確約を行っております。

## 6. 配分の基本方針

販売に当たりましては、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」及び株式会社名古屋証券取引所の「株券上場審査基準」に定める株主数基準の充足、上場後の株式の流通性の確保等を勘案し、需要の申告を行わなかった投資家にも販売が行われることがあります。

引受人及びその委託販売先金融商品取引業者は、公平かつ公正な販売に努めることとし、自社で定める配分に関する基本方針及び社内規程等に従い、販売を行う方針であります。配分に関する基本方針については各社の店頭における表示またはホームページにおける表示等をご確認下さい。

(注) 「4. 株主への利益配分」における今後の利益配分に係る部分は、一定の配当等を約束するものではなく、予想に基づくものであります。

以 上

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。